

# いじめ、根絶！ 守れ、いのち！

## 「いじめられる子が悪いんや」 それは間違っています

「いじめられる子にも原因がある」という人がいます。しかし、「原因がある」からいじめをしてもよいということにはつながりません。子どもたちが「いじめられる子に原因がある」と言うのは、自分の行為を正当化するために使う言い訳です。いじめを正当化させてしまえば、子どもの健全な成長は望めません。大人として毅然とした態度で「どんな理由があっても、いじめをしてはいけません」と、子どもに伝えなくてはなりません。

**いじめかもしれない、と思ったら各学校・園または下記までお電話ください。**  
 ◎町教育相談「ふれあいルーム」 ☎079(437)4141 ◎町教育推進チーム ☎079(435)0545  
 ◎中央子ども家庭センター ☎078(923)9966 ◎ひょうごっ子悩み相談センター ☎079(421)0115

—— いじめる側の心理 ——

- ・友人関係をうまくつけない子どもが「いじめ」によって友人や仲間を求めている
- ・「いじめ」という手段で仲間を募って、相手を思い通りに支配しようとする
- ・相手をねたんだり引きずりおろそうとしたりする嫉妬心が働いている
- ・人権感覚が未熟なため、遊び感覚で愉快的な気持ちを味わおうとする
- ・強いものに追従し、数の多い側に入りたいという従属的な気持ちが働いている
- ・欲求不満やイライラを晴らしたり、相手の言動に対して反発・報復したりする

「いじめを見ても、何もしなければ自分は関係ないと思う」  
 いいえ、関係あります。  
 調査では、他の人がいじめられているのを見たとき、中学生の5割、小学生の3割が何もなかったと回答しています（平成10年総務庁行政監察局）。

しかし、何もしないことがいじめを助長させているのです。傍観することもいじめであると、大人が子どもたちに気付かせてください。家庭や学校で日ごろから、いじめについて啓発や指導を受けている児童生徒ほど、いじめに接したとき、教師や親に相談したり、いじめている人に注意したりするなど、何らかの対応をする割合が高いと言われています。

「わが子や身近にいる子どもがいじめに加わっていると分かっても、できるだけ軽く聞き流している」  
 軽く扱ってはいけません。  
 いじめている立場こそ、真剣に子どもの話を聞くことが必要です。「いじめはやめときよ」の一言で、済ませていませんか。いじめられる子どもより、いじめをする子どもに、心理的な問題があることが多いのです。子どもの心理を理解して、人間としていじめは許されないとこのことを指導することも、「いじめる側の心理」を参考に個別に対応することが大切です。

「先生に言ったらよけいにいじめられる」  
 いいえ、話したことが原因で状況が悪化することはありません。  
 担任に話して「いじめがなくなつた」と答えている子どもは、40〜50%あります。これに対して、「よけいにいじめがひどくなった」は、わずか2%にとどまっています。このことから、担任がいじめに対応すれば多くは解決をみることに、担任に知らせても子どもが思っているほどいじめが悪化することはないことが分かります。

### 子どもの世界は変化しています。アンテナを高く！

◎言葉遣いに気をつけましょう  
 遊びや流行だからと、見逃してはいけません。「タサ」「ツギ」「シね」「チョーむかつく」など言葉の暴力は、言われる人が苦しむのはもちろん、言う人の心もむしばんでいきます。正しい心は正しい言葉遣いからです。

◎わが子のネット社会を知りましょう  
 子どもたちにとって、ネットはとても簡単な世界です。  
 携帯電話やインターネットを通して、掲示板やブログまたはホームページで相手を非難中傷する卑怯で陰湿な方法が見られます。  
 また、ネット社会の犯罪に巻き込まれないためにも、子どものネット利用を知っておきたいものです。



11月11日(土)、播磨南中学校体育館にて、「多文化共生フィスティバル」&「ふれあいウェーブ」講演会が開催され、全校生徒・保護者・教師・人権啓発推進関係者など、約600人が参加しました。

- ・講師 池間 哲郎氏 (NGO沖縄チャイルドサポート代表理事)
- ・演題 「閉ざされた世界の中で懸命に生きる子供たち」～アジアの子供たちは今～

## 私の夢は大人まで生きることです。

～フィリピンのスモークマウンテン(ゴミ捨て場)で暮らす少女の言葉より～



アジア諸国を飛び回り、貧しい子どもたちや病気で見捨てられた人々を命がけで支援活動をしている池間氏の言葉は、重く、強く、優しさに溢れていました。そして、本人が撮影した映像は、テレビや新聞では報道されなかった過酷な現実を見る人の目に焼き付けました。

◎私が一番印象深いのは、家族の思いあいです。私も池間さんと同じ思いで、捨てられたらきつと親をにくむと思います。悲しいのと憎いのとでいっぱいになって、親を楽にしたいと思えないと思えます。でも、今日みた子どもたちは、すごくやさしくてきれいな子たちで、自分の小ささに恥ずかしくありません。

今日の講演を聞いて、本当によかったと思うし、これから生きていくために必要なことを聞かせていただいたと思えます。このことに感謝し、これからもいろんな人に感謝をしていきたいと思えます。

3年 元木万耶子さん

◎貴重な講演でした。日ごろ思っていた事柄を、子どもたちに伝えてくださったと感謝します。自分の育ってきた時代のこと、暮らし方をしっかりと子どもに伝え、教育してきましたか？と自分に問う気持ちです。

しっかり子育てしたいと思えます。

保護者アンケートより

《播磨南中学生と保護者の感想抜粋》

○見捨てられて死にたいと思っていた人が、池間さんたちのおかげで、「自分は生きていいんだ、愛されているんだ」と気が付き、また生きる勇気が持てた。この話は心の中にせつなく入ってきました。私は、親に甘えず、自分のことは自分でできる、周りのことをしっかりと考えられる、そういう大人になっていきたいと思えます。そして、「しっかりと生きる」ことを大切にしていきたいです。

2年 仲恵美さん

○私が一番心に残ったのは、大人になるまで生きることが将来の夢と言った少女の言葉です。明日を生きるのびるものが危ない子どもたちが、ゴミを集め、身体を売り、命をけずって、必死で生きようとしている。そんななかでも、親を大切に思い、自分よりも親の幸せを祈っている…。

今の自分が恥ずかしく思いました。つらくても笑って生きようとする子どもたちをみると、涙がでそうでした。

3年 小西麻衣さん

○今日のこの大切な話は、自分にとって最高のお話だったと本当に心から思います。たくさん映像を見させていただきましたが、まだ全てが本当のことだとは信じられませんが、映像と池間さんのお話を聞いてみると、貧しさに負けない強い意志や一生懸命に生きようとする姿に心を強く打たれ、かわいそうという気持ちではなく、すばらしいという気持ちで芽生えた感じがします。

3年 中須賀基さん



## きらきらと瞳が輝く修学旅行



▲見晴らしも良くて、気持ちいい！子どもたちの瞳が印象的な2日間であった。

### 播磨南小学校

また違ったいい表情を見せている。子どもたちの瞳が印象的な2日間であった。

修学旅行2日目。最も楽しみにしていた鷺羽山ハイランドに到着。フリーパスポートを受け取り、子どもたちは、一目散にお目当てのアトラクションに向かう。子どもたちの声が弾む。「すっぴんスピードで、スリル満点だよ」「てっぺんからの景色がとてもきれいだっただよ」

「ここ鷺羽山ハイランドは小高い丘の上にある、ジェットコースターにしても観覧車にしても、実際よりはるかに高く感じられるのだ。その上、瀬戸大橋を始め、瀬戸内海の風靡な眺望が開けている。ジェットコースターのスリルとそこからの景色の良さを同時に味わえるわけなのだ。1日目の広島平和公園での、しっかりとした平和学習の時とはまた違ったいい表情を見せている。子どもたちの瞳が印象的な2日間であった。」



## 心をひとつに！校内音楽会



### 播磨西小学校

保護者の方からも、「皆が一生懸命で気持ちよさそうに歌っている姿に自然と体がスイングしました」などうれしい便りをいただき、とても心に残る音楽会となりました。

子どもたちの感想は、「ドキドキしたけど楽しく歌えたから大満足です。みんなが拍手してくれてうれしかったです」



## 今年も来た、北まつり



### 播磨北小学校

「わーい」と、今年も北小学校から、子どもたちの歓声があがっています。11月11日(土)、「来た、北まつり北小フェスティバル」が、盛大に開催されました。地域に開かれた学校を目指して、学校・児童会・PTAの3者が一体となって取り組んでいる行事です。午前中の第一部は総合的な学習や教科の学習発表や歌あり、劇あり、朗読ありといった内容です。午後の第2部は児童が主体的に取り組み、サーキットでお化け屋敷や宝探しなどの店を出したり地域やPTAからは、ツールペイントや手芸陶芸品の展示がありました。中でも人気があったのは、北小学校恒例となっている「ボン菓子」販売や「もちつき大会」、給食の調理員さんが作ってくれた豚汁でした。今年で最後となった「北小フェスティバル」は、児童はじめ参加したすべての人々の心に深く刻まれたことでしょう。

「わーい」と、今年も北小学校から、子どもたちの歓声があがっています。11月11日(土)、「来た、北まつり北小フェスティバル」が、盛大に開催されました。地域に開かれた学校を目指して、学校・児童会・PTAの3者が一体となって取り組んでいる行事です。午前中の第一部は総合的な学習や教科の学習発表や歌あり、劇あり、朗読ありといった内容です。午後の第2部は児童が主体的に取り組み、サーキットでお化け屋敷や宝探しなどの店を出したり地域やPTAからは、ツールペイントや手芸陶芸品の展示がありました。中でも人気があったのは、北小学校恒例となっている「ボン菓子」販売や「もちつき大会」、給食の調理員さんが作ってくれた豚汁でした。今年で最後となった「北小フェスティバル」は、児童はじめ参加したすべての人々の心に深く刻まれたことでしょう。

▲おもちゃ大好評でした

## 第32回 校内音楽会

### 蓮池小学校

11月11日(土)は、子どもたちが練習を重ねてきた成果を発揮する音楽会です。「宇宙へひびけ」をテーマに、それぞれの学年の「よさ」をひびかせました。保護者の方から、次のようなお便りをいただきました。

「土曜日の音楽会は、どの学年もすばらしかったです。私は、子どもたちが歌っている姿を見て涙が出てしまいました。みんなよくがんばったと思います」



▲天井の旗は宇宙をイメージしました

## 熱唱・熱演 文化祭2006

### 播磨中学校

来年度の文化祭は地域の方々や保護者の方々と一緒に、さらにはバリエーションアップしたものにすることは、間違いありません。



11月1日(水)に播磨中学校で文化祭が行われました。今年のテーマは「ひびき広がるぼくらの声 ゆめを实らすちからになれ！」です。前日10月31日(火)には、1・2年生の合唱コンクールが行われました。どのクラスも気持ちのこもった合唱で、審査員の先生からは採点が大変難しかったという感想が漏れていました。

文化祭は内容が豊富で、各部・教科による展示、自由参加によるダンスやバンド、吹奏楽部による素晴らしい演奏。また、3年生の最優秀クラスのアンコール。どれをとっても内容が充実していて、「やっぱり音楽って良いなあ」と誰しも感じたことでしょう。

## 一生懸命演奏した音楽会

### 播磨小学校



▲美しい音色が響きました

2年生、3年生、5年生による「はじめようコンサート」の元気な歌声にのって、音楽会が始まりました。笑顔いっぱい元気いっぱい3年生は、リコーダーを一生懸命ががんばりました。「チキチキバンバン」の合奏では、軽快なリズムが体育館に広がりました。群読を取り入れた手あそび歌が上手だった1年生。「かいけつゾロリ」や「ゲト戦記」の歌を元気に歌った2年生。「山の王の宮殿にて」の迫力ある合奏がみごとだった5年生。「酋長の行進」では、いろいろな楽器がうまく調和していた4年生。ドラが鳴り、重厚な演奏がすばらかった6年生の「展覧会の絵」。音楽に酔いしれたひとときでした。

## クリーンキャンペーン

### 播磨南高校

11月18日(土)にPTA主催のクリーンキャンペーンが行われた。寒い中、朝からPTA役員、保護者、生徒の約150人が参加した。播磨南高校周辺を中心に、望海公園、はりまシーサイド・ドーム、山陽電鉄西二見駅周辺、学校から播磨町駅、新幹線下から秋ヶ池。とても広い範囲の清掃活動になりました。

予想したよりゴミが多く、大変でしたが、全員が真剣に取り組んだので、どの場所もゴミ袋を一杯にすることができました。今回参加してみて、もっとこういった清掃活動をする機会を増やして、学校や駅、道路、そして播磨町全体がキレイで居心地の良い町になってほしいと思いました。



▲たくさんの方が集まりました

## 文化祭成功の舞台裏 生徒会の皆さんご苦労様

### 播磨南中学校

10月下旬になる旬になると校舎のあちこちから美しい歌声が聞こえてきます。11月2日(木)に行われる文化祭の合唱コンクールに向けての練習にどのクラスも余念がありません。

文化祭までの2週間、生徒たちもあまり気付かないその陰で、生徒会役員は毎日大変忙しい日々を送りました。プログラムの作成から放送・司会・幕間の進行・照明など綿密なタイムスケジュールを立てたり、文化祭直前の土曜・日曜はそのスケジュールにあわせてリハーサルを実施したりしました。文化祭の成功はこの舞台裏の14人+α(担当教師)のスタッフの取り組みなしには語れないのです。今年も、洗練された歌声が、体育館中に響き、素晴らしい文化祭が実施されました。生徒会役員の皆さんご苦労様でした。



▲クラス一体となってがんばりました





いいにおいするかな？

幼稚園の柿 おいしかったよ

蓮池幼稚園



おいしいね

「柿、おいしい。そうなる色になつとうー！」前よりオレンジ色や！と、柿の木を見て子どもたちは大喜び。『そろそろ食べよう』と試みる。『いいにおいするー』と大喜び。ひとりでつなぐことを知ると、「分けたらいいやん」と言っ声が。『おいしい柿の味は特別おいしかったようです。』

横断歩道しっかり渡れるよ!!

播磨幼稚園



右、右、右、OK!!

11月10日(金)警察の方や役場の健康安全グループの方に来ていただき、お天気の中、交通安全教室が始まりました。

まずは遊戯室で交通ルールを守る大切さを学びました。道路で遊ばないこと、飛び出さないこと、信号をよく見て渡る。他にも自転車の二人乗りは危ないこと、信号は手を挙げて渡ることなど。ビデオを見ながらびっくりにしたり「あぶない！」と声を出したりしながら自然と心に残ったようです。ビデオの後は園庭で実際に信号を見て横断歩道を渡りました。「右見て、左見て、もう一度右見てーよしOKー」と確認してから、ピンと手を伸ばして渡ります。どの子も真剣そのもの。4つの横断歩道を渡った後はニコニコ顔の子どもたちでした。もうこれからは大丈夫だね！

おもものホットケーキをつくったよ!

播磨西幼稚園



▲うわあ!!上手に卵が割れたよ!!

うまくひっくりかえせるかな?

「ほくが、卵わるよ!」「混ぜるのは交代でしよう!」などと材料を見ると子どもたちは、おもしろい様子です。「おいしくなあれ! おいしくなあれ!」とみんな粉を混ぜ、いよいよ焼きます。ホットプレートにそうっと生地を流し、刻んだサツマイモをトッピング。『いい匂いがしてきたよ!』「大きくなってきた!!」とわくわくしながら焼けるのを待ちました。よいしょ!とひっくり返して、おもものホットケーキの出来上がり。自分たちで収穫したサツマイモでつくったホットケーキの味は最高!!



▲あまくておいしいよ!

こんなことしてるよ

蓮池保育園



◀みんなで楽しく遊んだよ!

月1回程度の老人クラブの方との交流会では、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に伝承あそびを楽しんでいます。あやとりをしたり「せっせのよいよい」「アルプス一万里」など、また、わらべうたを教わっていたり、子どもたちは交流会の日をとても楽しみにしています。生活発表会では、普段の遊びを表現の中にとりいれ、みんなで考えながら劇あそびを楽しみました。初めは恥ずかしくて言えなかったセリフも大きな声で言えるようになり、たくさんの人に見ていただいで、拍手もいっぱいもらいました。またひとつ、自信がつきました。

あなたに

はつたつち

リレーエッセー⑩

なぜ、走るのか?



佐伯 裕子さん (野添)

趣味 ランニング、スキー  
何ごとも、やってみなけりや分かりません。ポジティブシンキングをモットーに

趣味...というより、ライフワークとして、ランニングを楽しんでいる。アンチエイジングを目指している訳ではなく、健康管理への認識は薄く、当然、好きなアルコールを控える気は...、毛頭ない。走り始めてわずか5年程度、しがたない市民ランナーではあるが、今までに、10キロやハーフ、フルマラソン、100キロ...、数えてみると、40回以上の大会に参加し、全て完走してきた。タイムを縮めることが目標の一つなので、それなりの練習が必要となり、ほぼ毎日、休まずに走り続けている。雨の日も、夏の炎天下も、冬の寒さも関係なく。

周囲の人たちからは、「何でそんなしんどいことをするん?」と質問される。確かにおっちゃん通り。でも、しんどいことをしているからこそ、その達成感や充実感は計り知れない。確かに、走るというスポーツは、辛抱・根性・努力という、スティックなイメージが独り歩きをしているが、必ずしも、それがすべてではない。大会に出たり、練習をしたりする合間に、色んな所へ、ピクニック気分で行きに行く。のんびりとジョギングをしながら、戸外の空気を吸い込み、四季の移り変わりを感ずる。色々な山へ、走りに行ったりもする。ランナー仲間と、美味しいモノを目指して走って行くなんていう、お楽しみ企画

もある。こたつに入ってテレビを見ながらミカンを食べている生活では、味わうことの無いであろう、「希有な体験」ができるのだ。一市民ランナーとして私は、マラソンとは、「競争」ではなく、「共走」であると思っていいる。人と争う競技では無い。簡単に言えば、練習でもレースでも、やめようと思えば、いつでもやめることが出来る。チームプレイではないから、リタイアしても、人に迷惑を掛けることは無いし、サボっても、誰にも文句は言われない。なのに、なぜ走るのか?もしかしたら、大会で応援していただけありがたさや、ゴールの感動が忘れられず、また、次の目標に向けて走ってしまうのかも知れない。

早おき、早ね、朝ごはん

子どもの生活リズムは親がつくるものと分かっているけど、仕事をしているとなかなかうまくいかなくて...



福祉グループリーダー 平 敦子さんに聞きました。

A 毎日、決まった時間に食事をとることが生活リズムの定着には大切だと分かっているけど、仕事をしているとつい遅くなり、悪戦苦闘でイライラしてしまいますよね。私の子育ても同じでした。保育園にお迎えに行くとお腹をすかせているから、先におやつを与えてしまい、家に帰ってすぐ夕食準備をしても、今度はお腹が大きくなくなってしまっているから食べ残し。なんとという悪循環。そんな悩みに園長先生から「帰ってから準備を始めるんじゃないかと、前の夜か朝のうちに少し下ごしらえをしておけばいい」と教えてもらい、それを実行し

ました。すると自分のイライラも減っていい感じ、ちょっとした工夫が役立ちました。朝は、まだ寝ぼけていてポイントとしている子どもが食べやすいように、小さめのおにぎりや果物などを食卓に出すように心がけていました。手抜きだつて上手に手間を省くのは工夫のひとつです。職場の先輩ママや現役ママに話を聞くと思わぬ知恵が拝借できるかもしれません。お家で子育て中のお母さんは、近くの子育て支援センターに出かけてみませんか。子育てママ達から役立つ話が聞けるかも!



# トピックス

## さわやかパトロール隊はりまが、兵庫県くすのき賞を受賞。コウノトリ賞を2人が受賞しました

平成15年から、活動をスタートさせた「さわやかパトロール隊はりま」(代表 酒井正信さん)は、43人の隊員と播磨小学校児童、PTA、教師が合同で「あいさつ行き交うまちに犯罪なし」を志として、防犯パトロールと「ゴミ拾い、そしてあいさつを率先して実施しています。

参加した児童からは、「これから、ゴミのポイ捨てはしません」「楽しかった」という感想があり、隊員は幼児から大人まで自らあいさつする人が増えてきたことを実感しています。

このような活動が、「こころ豊かな美しい兵庫の実現」に貢献したとして、県からくすのき賞が贈られました。



▲気軽に活動しています

また、点訳活動をする大上良子さん(古田)と、精神障害者の介助活動をする山田法子さん(野添)が、コウノトリ賞を受賞しました。

## 坂田隆昭さんが、危険業務従事者叙勲を受章されました

危険業務従事者叙勲は、警察や消防などの業務に精励し、国家または公共に対する功績に対して、総務省から贈られる表彰です。



▲勲章を胸に

坂田隆昭さん(大中 75歳)は、昭和61年に退職するまで35年間、兵庫県警に勤務しました。まじめで誠実な警察官として、明石、本部、姫路、社などに勤めました。「酔って暴れるという住民の対応もよくありました」と、当時のことを話されました。

退職後は、グランドゴルフや旅行を楽しまれるなど、健康で多忙な毎日を送っておられます。

## こころ豊かな人づくり50人委員東播磨OB会播磨 老人クラブと子どもたちの「しめ縄作り」

11月4日(土)、播磨大中古代の村で行われた大中遺跡まつりの会場で、同会が主催する「しめ縄作り」が催されました。

参加者に縄打ちから体験してもらったために準備していると、早々と関心を示した子どもや大人が集まって来ました。二子北老人クラブの有志4人を含む14人の指導助手ボランティアの手助けで、子どもたちは、はさみやラジオペンチなどの工具を使い、緑色した縄でメガネ型のしめ縄を製作しました。縄を編み始めると右手と左手の回し方がうまく出来なくて苦戦している人もありましたが、1時間程で出来あがり大満足していました。



▲文化を伝える世代間交流です

※「こころ豊かな人づくり50人委員東播磨OB会播磨」では、子どもたちの健全育成に深く関わりながら、親子のふれあいを目的に運動を展開していきたいと考えています。

## 民生委員児童委員協議会 厚生労働大臣表彰を受賞

播磨町民生委員児童委員協議会(亀田龍昇会長)が、この度、厚生労働大臣より優良活動団体として表彰を受けました。

この表彰は、同協議会委員(59人)が、高齢者の自宅訪問や相談および児童に関する相談など、住民の相談支援活動を積極的に展開していることや、内部に部会を設置し、より専門的な委員の育成に取り組んでいることが評価されたものです。



▲受賞された委員の皆さん

## 平成18年度播磨町技能職者表彰が、4人の方に贈られました。

播磨町では、優秀な技能を有し、かつ、永年にわたりその技能を必要とする職業に従事して地域社会の発展に貢献された方をたたえるために、技能職者表彰を行っています。今年度は11月27日(月)に4人の方が表彰を受けられました。



▲町長室で表彰式を行いました。

**田村 謙さん**(二子) 一級建築施工管理技士。在来木造建築や、鉄筋コンクリート工事などの卓越した技術や、後継者の育成などの活動が、技能者の模範として評価されました。

**小林 利夫さん**(野添) 理容師。永年理容業に尽力され、若年理容師育成に励み、ボランティア活動にも力を注がれるなど、意欲的な姿勢が評価されました。

**寺岡 圭一さん**(本荘) 一級技能士。兵庫県知事より「兵庫の匠」の認定を受けられました。伝統的技術の伝承や後継者の育成などの活動が評価されました。

**山田 ヤヨイさん**(北本荘) 美容師。花嫁着付コンテストで優勝、理事長賞を受賞されました。さらに、全日本美容連合会上級着付師にも合格されるなどの功績が評価されました。

## 第54回播磨町美術展が催されました

毎年恒例の播磨町美術展が今年も11月8日(水)~12日(日)まで中央公民館で開催されました。期間中、約千200人の方が鑑賞されました。

日本画、洋画、写真、書道、陶芸、彫刻・工芸の6部門で、205点の作品が展示され、審査の結果、入賞作品33点選ばれました。

## わんぱくはりまっ子



藤原 稜大くん (3歳) 宮西

優しく素直な子でいてね お父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

## 楽屋裏

今月の教育のページを読んでください。右ページは日本の子どもたちの命の話です。左のページは貧しい国で懸命に生きている子どもたちの命の話です。この2つの問題は、つながっています。

講師の池間さんは、言いました。「今日、私が話したアジアの子どもたちは、とても貧しいけれど、懸命に生きています」ということを知ってください。日本は今とても豊かです。でも、君たちの心の中はどうだろうか? どうか、命を大切にしてください。一生懸命に生きてください。」と。

2つの記事を構成しながら、私は何度も講演での話を思い出しました。(宮)

# トピックス